



2024年5月9日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

「未来創生3号ファンド」

ワイヤレス給電(WPT)を有人環境で実用化したエイターリンク株式会社への投資を実行

—超小型化・高い給電効率で、国内外のパートナーの給電課題を解決—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生3号ファンド」が、エイターリンク株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役/CEO 岩佐 凌。以下、エイターリンク社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。

■投資先企業の概要

エイターリンク株式会社は、同社 CTO である田邊氏がスタンフォード大学で研究を行ってきた「医療インプラントデバイス」のワイヤレス給電技術を起点とし、その事業化を目指す岩佐氏との共同創業によって設立されました。最大 17 メートル先の受電機に対し、角度依存なくワイヤレスで給電できる同社の技術は、国内外の給電課題に悩む事業会社等から評価されており、FA、ビルマネジメント、物流、小売、メディカルなど、幅広い領域への展開が期待されます。

- ・会社名：エイターリンク株式会社
- ・代表取締役/CEO：岩佐 凌
- ・設立：2020年8月
- ・所在地：東京都墨田区錦糸 4-17-1 ヒューリック錦糸町コラボツリー
- ・WEB：<https://aeterlink.com/>

■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生2号ファンド」および「未来創生3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約 135 億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2024年3月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,161億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com